

第 14 回「名東の日」取材しました！

「チーム名東」は、2009 年 5 月 9 日（土）と 10 日（日）に名東区内各所で行われた第 14 回「名東の日」取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部 3 年の一谷梨絵・岩間絵里佳・長谷川真咲・木下綾子・原田恵里、2 年生の恒川典子・守永光希・村上郁・渡邊裕木です。それではおまつりの様子をご紹介します！



名東消防署にて

5 月 10 日は「名東の日」です。なぜかという、5 月は英語で「May(メイ)」、10 日は数字で「トオ」と読むからです！なんだかダジャレみたいだけれど、覚えやすくて親しみやすいですね！

名東区では平成 8 年から「名東の日」を定め、平成 11 年からは、この名東の日を中心にした 1 週間を「名東ウィーク」と名付けて、さまざまなイベントを行っています。イベントの内容は、大きく分けて 3 つ。①地域が中心となって屋台を出したり、子ども達が楽しめるブースを出したりするお祭り、②地域の公共施設（消防署や幼稚園・小学校）を会場として、地域の防災や教育について理解を深める学習・広報活動、③協賛店で実施される協賛メニューの提供や協賛セールの実施、です。「名東の日」のイベントは名東区内の各地で行われたので、私たちもいくつかのチームに分かれて取材を行いました。

まずお祭り型の企画として、西友高針店の駐車場では「高針村ふるさとまつり」が行われていました。地域で活動するオーケストラがみんなの知っている親しみやすい音楽を演奏してくれたり、地域のお年寄りが、地域でとれたタケノコや野菜を使ってお味噌汁を作り、つくたてのおもちと一緒に無料でご馳走してくれたり。金魚すくいや風船アートなど子ども達に人気のブースもありました。会場は親子連れで大盛況でした！次に、地域の公共施設で行われるイベントのひとつとして、名東消防署取材しました。消防服を身につけて放水体験ができたり（写真 1）、レスキュー体験ができたり。働く車が大好きな小さな子ども達に大人気でした。このように楽しみながら公共の仕事について理解が深められるのはとてもよいことです！そして、最後に協賛店への取材です。協賛店では、いつもは 800 円くらいするランチを名東の日になみ、510 円で提供しているところが多かったです。協賛店になることで、地域の根付いたお店として人々に認知されていくというメリットもあります。そのため、それぞれのお店では採算度外視でサービスを提供してくれていました。私たちもおいしい協賛メニューをたくさん味見させていただきました。ごちそうさまでした！



この取材を通じて、自治会や老人会、PTA などの自治組織、公共施設、商業施設などが一体となり、地元の名東区を盛り上げようとしている活気を感じ取ることができました。このような取り組みが名東区だけでなく、名古屋市全区に広がっていくといいなと感じました。